

4月の活動内容報告

ビーバー(BVS)隊



4/10 上進式セレモニーで入隊式が行われ、ミニビーバーとしてゲスト参加していた2人が2年間の長い下積

みを経て、晴れて正式にスカウトになりました。参列したカブ隊以上の先輩やお母さんたちの前でやくそくときまりの宣誓はとても緊張しましたが、しっかりできました。入隊式後は、ミニビーバーと一緒に公園内にて春を感じるゲームを行いました。また遊びを通して、みんなで自己紹介をしました。

4/24 街中ハイキングに出かけました。もみじやま公園でのザリガニ釣りからスタート！公園



ごとに様々な遊びをしながらたくさんの公園を巡りました。街中を歩く中で様々な発見がありました。その一つに「こども110番」の看板。たくさんあったので我先に、と探して歩きました。みんなを守ってくれる地域の目がたくさんあることを知りました。ぱらぱらと雨の降ってちょっと残念な感じのしたスタートでしたが、みんなでカッパを着て歩いて、雨の中での楽しみもあることに気づきました。

カブ(CS)隊



4/10 上進式で、6名のスカウトが、カブ隊に仮入隊しました。その後、“りすの道”を経て、やくそく

とさだめを唱える入隊式を行うこととなります。セレモニー後には、改めて、仲間の名前を確認しました。ビーバー時代から一緒にいる仲間ですが、意外とフルネームは知らなかったりします。その後はさっそく“りすの道”が始まりました。

カブスカウトは覚えることがたくさんあり、ちょっと頭がパンク気味の、カブ隊一日目でした。

4/24 小雨模様でしたが、もみじ山公園で集会をしました。始めは、整列の練習。横や縦やU字型と色々な整列の仕方があります。そのあとは、ハイキングで使う「追跡サイン」の勉強。街中と野山で使うサインの違いを知り、実際に枝や石を使って追跡サインを作ってみました。



雨があがったところを見図り、落合公園までミニハイキング！街中を歩くので、チョークで書かれたサインを探して進みました。公園では遊具で遊んだり、ボーイスカウトゲームの定番の“しっぽ取り”で走り回りました。帰りも追跡サインを探しましたが、途中の公園で「カブスカウトにとって大切なものが隠されている」とのメッセージ受け取り宝探し。スカウトに大切な物それは「5つのさだめ」でした。



ビーバースカウト、カブスカウト大募集中です。 お知り合いへのお声かけ、ご紹介をお願いします。

ボーイ(BS)隊



4/10 上進式が行われ、6名の上進スカウト(G. S. くん、K. T. くん、K. H. くん、C. M. さん、T. M. くん、S. Y. さん)がちかいをたててボーイ隊の仲間入りをしました。その後の班集會では、彼らの班であるフェニックス班のモットーや班歌を決めました。これから新しい班で目一杯活躍してくれることを期待しています。



4/17 班會議が行われ、ゴールデンウィークに予定されているウェルカムキャンプのしおりを



見ながら、班の中で持ち物のチェックや役割決めを行いました。

4/29 中野保健所にて備品整理を行いました。ウェルカムキャンのブに必要な班備品を全員でそろえました。その後、キャンプで建てるA型テントの講習を行い、キャンプ本番でうまく建てられるように訓練しました。

ベンチャー(VS)隊



4/10 上進式が行われ、2人のスカウトがちかいの再認を行い、上進しました。その後に行われた一回目のプロジェクト會議では今年度の活動について計画を立てました。

4/17 ボーイ隊の班集會にTくんが参加し、BS 隊指導者の指導の下、班會議の運営を支援しました。

4/24 プロジェクト會議が行われ、TくんとFくんが参加しました。BS 隊指導者とGW キャンプに向けて打ち合わせを行った後、プロジェクト會議では今年度のテーマを各々設定しました。二人とも『知識と技能を高めること、先輩/上級スカウトとして頼られる存在を目指すこと』を目標に設定しました。

4/28 隊運営會議が行われ、Mさんが参加しました。新入スカウトの進歩状況の確認、そして1年間議長スカウトとして隊をどのように運営するか話し合いました。



ローバー(RS)隊



4/6 東京連盟ローバーミーティングにNさんが出席しました。

4/10 上進式で2人のスカウトが、ちかいの再認を行いローバー隊に上進しました。初めての隊會議を行い、ローバー憲章の案を話し合いました。

4/23 あすなろローバーの定例会にOさんとNさんが出席しました。発足2年目のあすなろローバーの活動に積極的に参加していく予定にしています。



団委員長表彰

精勤賞	BVS	H. M.	くん
		K. M.	さん
	CS	G. S.	くん
		C. M.	さん
		T. M.	くん
		S. Y.	さん



ちよつとほつとえいと

活動で見つけたほのぼの話

最近、なかなか思うように仲間が増えない中野8団の「募集活動」をもっと活発に行っていこうと、カブ隊の小倉リーダーが担当者に名乗りをあげました。小倉リーダーがカブに入隊したウン十年前は、カブ隊だけでも50人以上(!)いたそうですが、その後、ゼロになったこともあるとか。健全なスカウト活動を継続するには、色々な要素が揃ってないと、スカウト数にも影響が出て、人数が減ってしまうようです。それは組織がしっかりしていて、各隊指導者が、子供たちが楽しめるプログラムを行っていて、保護者との良好な関係が保たれている事です。

団委員会+育成会、隊リーダー、保護者が三位一体となって、団を盛り上げていける団は、楽しいプログラムが運営されて、不思議とスカウトも増えてくるものです。中野8団も色々な取り組みを始めていますが、まずは6月に“スカウト体験会+ハイキング”を企画しています。スカウトが増えてくれることを信じて！皆様も是非、気軽にお声掛け頂いて、より良い8団を一緒に作っていきましょう。スカウトたちのために！

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

スカウト豆知識

「自治三訣(じちのさんけつ)」

現在のボーイスカウト日本連盟の前身となる『少年団日本連盟』が1916年(大正5年)に発足した時、その初代総裁として、当時東京市長であった岩手出身の後藤新平男爵が就任しました。各種大臣や総裁などを歴任した政治家で、関東大震災の際には、直後の応急処置とその後の復興計画に腕を振るった人物です。後藤の描いた復興プランによって、現在の東京の骨格が作られたと言えます。そんな後藤が総長として当時の少年団に向けた言葉に、次のものがあります。

人のお世話にならぬよう
人のお世話をするよう
そして報いを求めぬよう

後藤自身のモットーでもあったこの言葉、まさにボーイスカウトのちかいそのものです。

「いつも他の人々を助けます」「自分のことは自分でします」「進んでよいことをします」
ほとんどカブスカウトですね。

少し前に公開された映画「杉原千畝」で、杉原氏が自分が卒業した学院のモットーとしてこの言葉を言っています。後藤が学校に定めたモットーです。杉原氏はこの思いから、自分の正義を持って多くのユダヤ人を救ったのです。

ボーイ隊以上の「ちかいとおきて」、カブスカウトの「やくそくとさだめ」は、大人にとっても指針とできる言葉です。

リーダーの活動

- 4/7 地区円卓会議
- 4/10 団委員会
- 4/10 団会議
- 4/13 育フェス打合せ
- 4/22 地区委員会
- 4/23 エディンバラアワード地区説明会
- 4/28 地区総会



* 活動の写真はホームページにアップされています。
個人情報保護のためパスワードがかかっていますので、
隊長にユーザー名とパスワードをご確認下さい。
<http://members2.jcom.home.ne.jp/bsn8/>